

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-189854 (P2003-189854A)

【公開日】平成 15 年 7 月 8 日 (2003.7.8)

【出願番号】特願 2002-279091 (P2002-279091)

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/02
 A 6 1 K 39/395
 A 6 1 P 3/10
 A 6 1 P 3/12
 A 6 1 P 5/06
 A 6 1 P 13/12
 A 6 1 P 21/04
 A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 37/00
 A 6 1 P 43/00
 C 0 7 K 16/18
 C 1 2 N 5/10
 C 1 2 P 21/08
 G 0 1 N 33/53
 G 0 1 N 33/543
 G 0 1 N 33/577

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A C
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	3/12	
A 6 1 P	5/06	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	21/04	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	37/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
C 0 7 K	16/18	
C 1 2 P	21/08	
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/543	5 1 1 A
G 0 1 N	33/543	5 1 5 A
G 0 1 N	33/577	B
C 1 2 N	5/00	B

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 1 日 (2005.9.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはその誘導体のC端側の部分ペプチドに特異的に反応する抗体。

【請求項 2】

C端側の部分ペプチドが、配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列の第44番目～第53番目のアミノ酸配列を有するペプチドである請求項1記載の抗体。

【請求項 3】

C端側の部分ペプチドが、配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列の第40番目～第60番目、第41番目～第60番目、第42番目～第60番目、第43番目～第60番目、第44番目～第60番目、第45番目～第60番目、第46番目～第60番目、第47番目～第60番目、第48番目～第60番目、第49番目～第60番目、第50番目～第60番目、第44番目～第54番目、第45番目～第54番目、第46番目～第54番目、第47番目～第54番目、第48番目～第54番目、第49番目～第54番目または第50番目～第54番目のアミノ酸配列を有するポリペプチドである請求項1記載の抗体。

【請求項 4】

標識化された請求項1記載の抗体。

【請求項 5】

モノクローナル抗体である請求項1記載の抗体。

【請求項 6】

GR-1C(FERM B P-7682)で標示されるハイブリドーマ細胞から産生され得るGR-1Caで標示される請求項5記載のモノクローナル抗体。

【請求項 7】

請求項5記載のモノクローナル抗体を産生するハイブリドーマ細胞。

【請求項 8】

GR-1C(FERM B P-7682)で標示される請求項7記載のハイブリドーマ細胞。

【請求項 9】

請求項7記載のハイブリドーマ細胞を生体内または生体外で培養し、その体液または培養物から請求項5記載のモノクローナル抗体を採取することを特徴とする請求項5記載のモノクローナル抗体の製造法。

【請求項 10】

請求項1記載の抗体を含有してなる医薬。

【請求項 11】

請求項1記載の抗体を含有してなる診断薬。

【請求項 12】

請求項1記載の抗体を用いることを特徴とする配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはその誘導体の定量法。

【請求項 13】

請求項1記載の抗体と配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはその誘導体のN端側の部分ペプチドに特異的に反応する抗体とを用いることを特徴とする被検液中の配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはその誘導体の定量法。

【請求項 14】

(1)(i)担体上に不溶化した請求項1記載の抗体、(ii)標識化された配列番号：

1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはその誘導体のN端側の部分ペプチドに特異的に反応する抗体、および(iii)被検液を反応させた後、または(2)(i)担体上に不溶化した配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはその誘導体のN端側の部分ペプチドに特異的に反応する抗体、(ii)標識化された請求項1記載の抗体、および(iii)被検液を反応させた後、不溶化担体上の標識剤の活性を測定する、被検液中の配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはその誘導体の定量法。

【請求項15】

(1)(i)担体上に不溶化した請求項6記載のモノクローナル抗体、(ii)標識化されたGR2-1N(FERM BP-6682)で標示されるハイブリドーマ細胞から産生され得るGR2-1Naで標示されるモノクローナル抗体および(iii)被検液を反応させた後、または(2)(i)担体上に不溶化したGR2-1N(FERM BP-6682)で標示されるハイブリドーマ細胞から産生され得るGR2-1Naで標示されるモノクローナル抗体、(ii)標識化された請求項6記載のモノクローナル抗体、および(iii)被検液を反応させた後、不溶化担体上の標識剤の活性を測定する請求項14記載の定量法。

【請求項16】

請求項1記載の抗体、被検液および標識化された配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはその誘導体とを競合的に反応させ、該抗体に結合した標識化された配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはその誘導体の割合を測定することを特徴とする、被検液中の配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはその誘導体の定量法。

【請求項17】

請求項1記載の抗体を用いることを特徴とする配列番号：1、配列番号：2または配列番号：3で表されるアミノ酸配列を有するポリペプチドまたはその誘導体が関与する疾患の診断法。

【請求項18】

請求項1記載の抗体を用いることを特徴とする肥満症、不妊症、膠原病またはリウマチ性疾患の診断法。